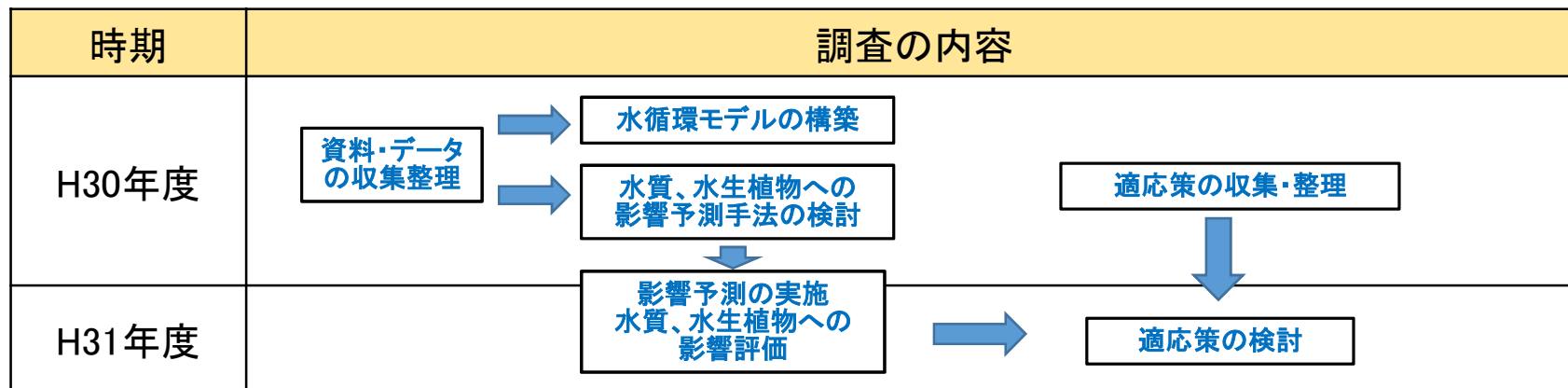


2-7.気候変動による湿地環境への影響調査【新潟市】

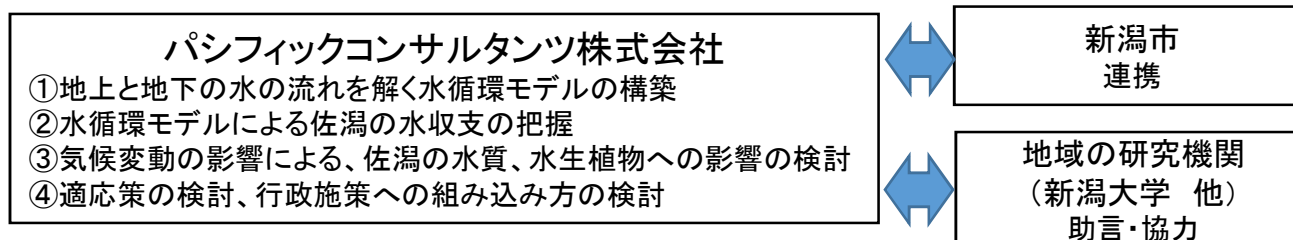
■ 目的

- 佐潟は、ラムサール条約湿地に登録されており、オニバス等の水生植物をはじめ、希少種が多数生育・生息するなど、生物多様性を保全する上で、重要な湖沼である。
- 近年ではアオコが発生するなど水質の悪化が問題となっている。今後、気候変動の影響による水収支の変化により、更なる水質の悪化や水生植物へ与える影響が懸念されている。
- そこで、佐潟の水収支を明らかにし、気候変動による佐潟の水質、水生植物等、湿地環境への影響を予測し、適応策を検討する。

■ 調査計画(2カ年)



■ 実施体制



佐潟の様子

出典:新潟市資料

2-7.気候変動による湿地環境への影響調査【新潟市】

■ 調査スケジュール

H30年度

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H31年度
① 地上と地下の水の流れを解く水循環モデルの構築	(1)モデル構築方針の検討	■												
	(2)モデルの構築に必要な資料・データの収集・整理	■												
	(3)モデルの構築(入力データ作成)				■									
	(4)現況再現性の確認(パラメータ整理)					■								
②水循環モデルによる佐潟の水収支の把握および気候変動影響予測	(1)将来気象データの収集・整理			■										
	(2)水収支の整理							■						
	(3)構築したモデルを用いた気候変動による将来予測									■			■	
③気候変動(夏の気温上昇や降水量の極端化(無降雨日の増加など)の影響による佐潟の水質、水生植物への影響の検討	(1)既往資料・データ、既往研究成果等の収集・整理	■												
	(2)影響評価項目・方法の検討、および影響評価								■			■	■	
④適応策の検討、行政施策への組み込み方の検討	(平成30年度は検討方針の整理を行う)							■						■
打ち合わせ ※必要に応じて実施	新潟市と打ち合わせ	●					●			●				
	新潟大学等との打ち合わせ	●					●			●				
地域協議会、全国運営委員会				地協 全国							地協 (予)	全国 (予)		